

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

2021年6月1日 発行

■ 本号の内容

- 廃止措置計画認可申請書が認可されました
- 新入社員の育成に努めてまいります
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- みなさまのご質問におこたえします
- 当所における核物質防護に係る事案について
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



福島第二原子力発電所に配属となった新入社員14名
一つひとつの課題に前向きにチャレンジしていきます
(研修棟 所内シミュレータ室) 撮影日:2021年4月22日
※撮影時のみ、一時的にマスクを外しております
(撮影直前に検温・アルコール消毒済み)

廃止措置計画認可申請書が認可されました

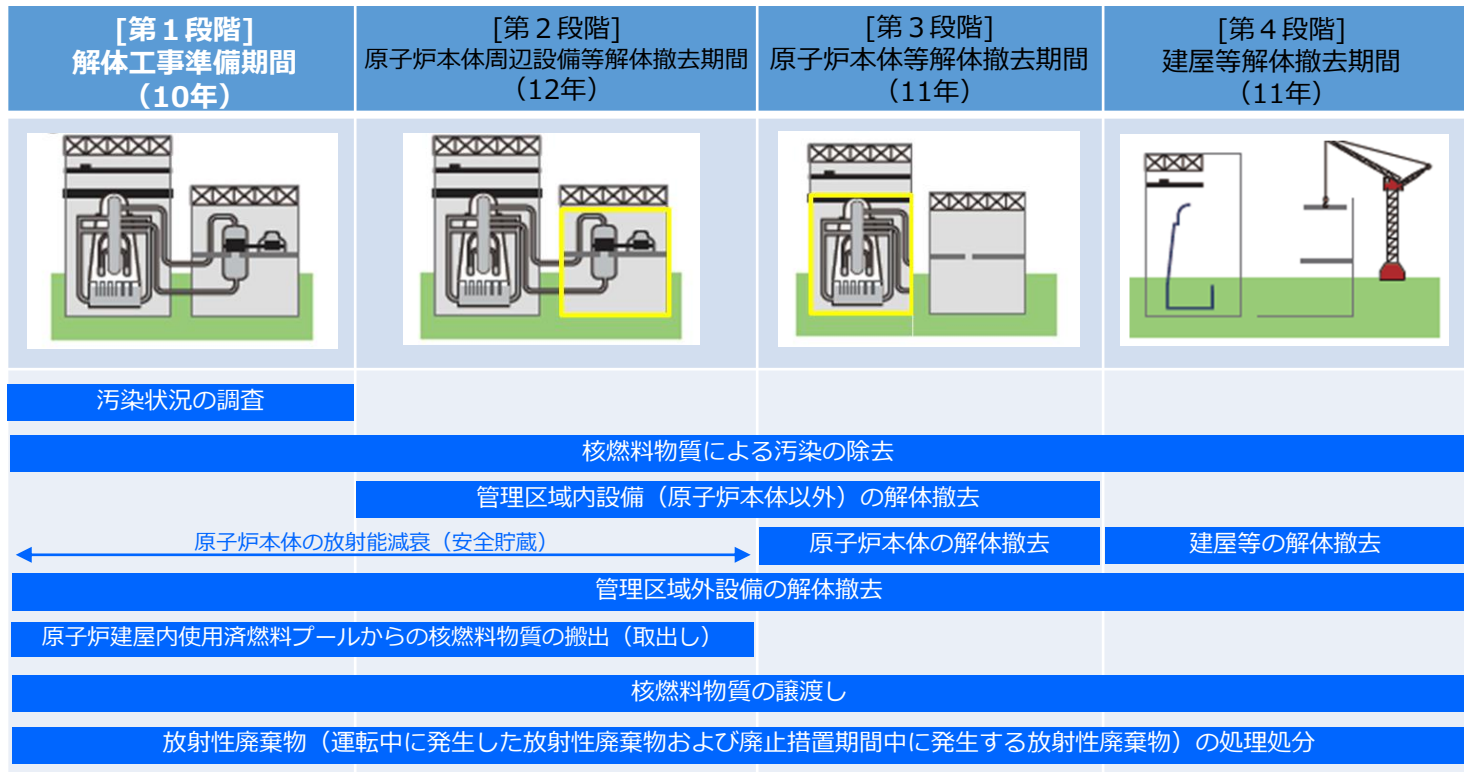
当社は、2020年5月に廃止措置計画認可申請書、同年11月に廃止措置を実施するための保安規定変更認可申請書を原子力規制委員会へ提出しておりましたが、2021年4月28日、同委員会より両申請について認可をいただきました。

今後、福島県、楡葉町および富岡町より「福島第二原子力発電所の廃炉の実施に係る周辺地域の安全確保に関する協定書」に基づく廃止措置の実施に関する事前了解をいただいた上で廃止措置に着手してまいります。

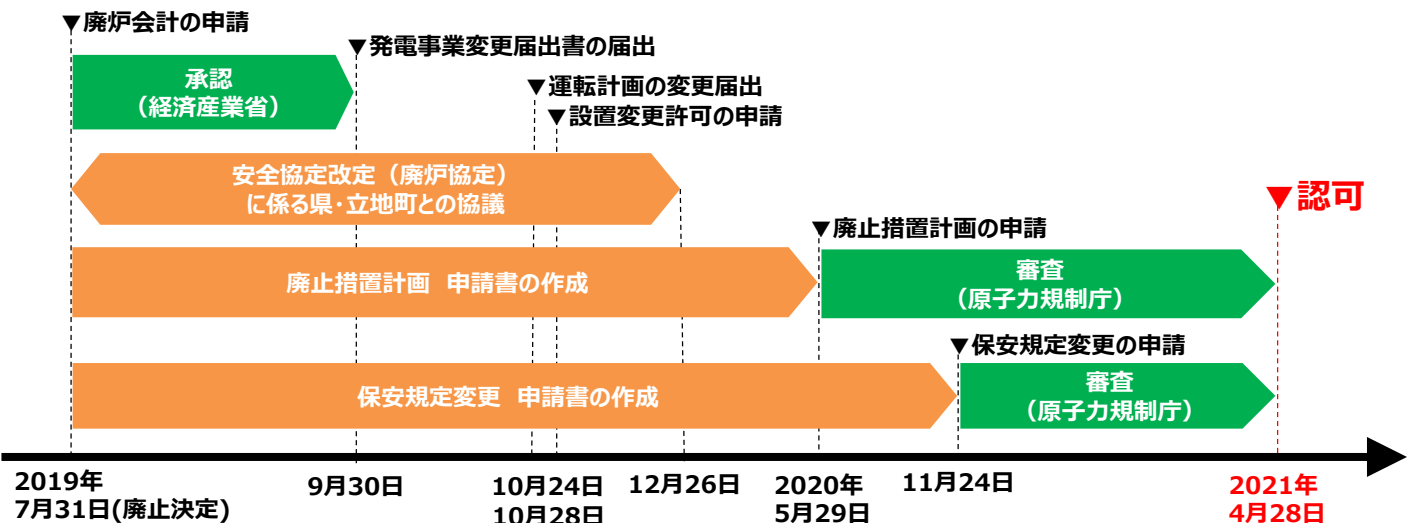
また、廃止措置の実施にあたりましては、安全確保を最優先に、地域のみなさまの安心に沿えるよう、取り組んでまいります。

◇廃止措置の主な手順（4基計）

- 4基すべての廃止措置期間は44年を見込み、全体工程を4段階に区分して実施します。
- 今回は、**第1段階である「解体工事準備期間」に関する廃止措置計画について認可**をいただきました。第2段階以降につきましては、第1段階において実施する汚染状況調査結果などを踏まえ、改めて廃止措置計画に反映し、変更の認可を受けてまいります。



◇廃止決定から認可に至るまでの手続きについて



新入社員の育成に努めてまいります

4月1日、新社員14名が福島第二原子力発電所へ配属となりました。新型コロナウイルス感染対策として、マスク着用・入社前の検温等、体調管理を徹底し、研修は座席の間隔を空け、室内換気を行いながら実施しております。新社員は原子力安全を確保するための知識や技能、ふるまいを学んだ後、9月からそれぞれの配属先で業務にあたります。これから続く廃止措置を安全に行えるよう、人財の育成に努めてまいります。



所長の三嶋から新社員への辞令交付（4月1日撮影）



研修受講の様子（4月8日撮影）

新社員インタビュー



福島第二原子力発電所 新社員

たかはら ゆい

高原 由依（広野町出身）

趣味：読書 中学生の頃は町の図書館をよく利用していました

－東京電力を志望した理由は－

40年程かかると見込まれている廃炉作業に携わること、生まれ育った福島の復興に少しでも貢献したいとの思いから、東京電力への入社を決めました。

－入社にあたっての抱負は－

わからない所をすぐに先輩へ聞くのではなく、自分で考えをまとめてから聞くことで、知識や技能の習得に繋げていきたいとします。先輩方や地域のみならずと進んでコミュニケーションを取りながら、業務に努めてまいります。

発電所構内の空間線量

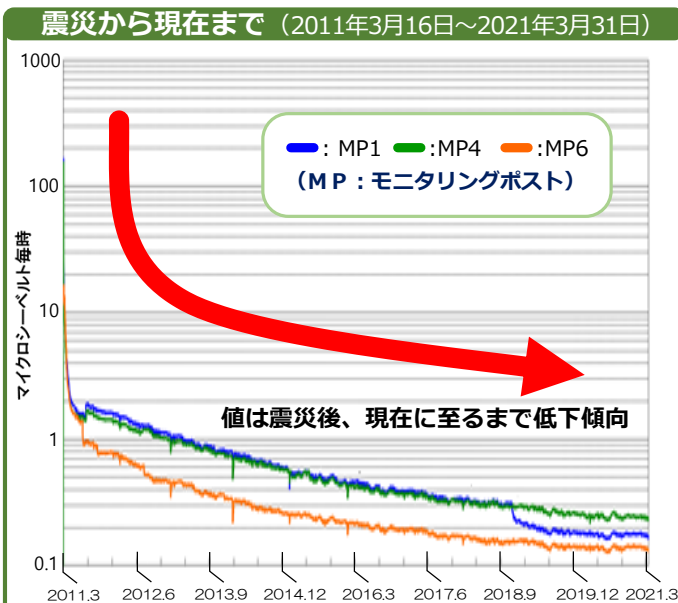
（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2021年5月20日 時点

0.08 [MP7] ～ 0.25 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向



参考データ

（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

| | | | |
|---------------|-------------|-----|-------------|
| 富岡町（帰還困難区域含む） | 0.07 ～ 1.59 | 楢葉町 | 0.04 ～ 0.19 |
| 広野町 | 0.05 ～ 0.16 | 川内村 | 0.05 ～ 0.24 |

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より（2021年5月20日 時点）

世界の主要都市の空間線量

| | | | |
|--------------|------|--------------|------|
| ロサンゼルス（アメリカ） | 0.10 | ソウル（韓国） | 0.12 |
| 上海（中国） | 0.59 | ロッテルダム（オランダ） | 0.33 |

出典：福島県放射線測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 2,534体 | 2,482体 | 2,544体 | 2,516体 |
| 1号機 | 2号機 | 3号機 | 4号機 |

みなさまのご質問におこたえします

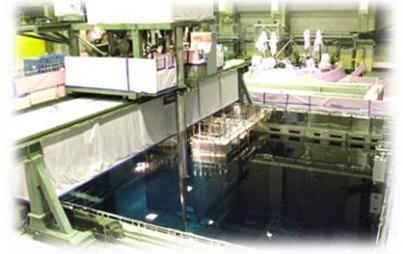
Q. 廃止措置計画の認可後、発電所運営はどのように変わりますか？

A. 廃止措置計画の認可を受け、発電所では、廃止措置を円滑に進めるため所内組織を改編するとともに、変更した保安規定にて発電所運営を行うため「公表基準」の見直しを実施いたしました。今後も、当所におけるすべての使用済燃料（約1万本）は、使用済燃料プール（写真）で保管により安定冷却を継続し、地域のみなさまに安心していただける発電所運営に努めてまいります。

【廃止措置計画における発電所運営の動き】

本年4月28日、廃止措置計画認可申請および保安規定変更認可申請が認可されたことを受け、5月24日から以下のとおり実施しております。

- ◆当所内における組織改編
・原子力安全センター → 廃止措置安全センター ・運転管理部 → 施設運用部 など
- ◆当所における公表基準の見直し（主な見直しのポイント）
公表基準より対象外となる主な内容（プラントの状態「運転」を前提としていた事象）
・原子炉の計画外の停止または出力変化 ・想定外の制御棒の引き抜け・過挿入 など



当所における核物質防護に係る事案について

- 5月19日、当所における核物質防護に係る事案について公表いたしました。
- 地域のみなさまをはじめ、広く社会のみなさまに大変ご不安をおかけしていること、またご不信を与えていることについて、改めて深くお詫び申し上げます。
 - ◆事案① 安全上の重要度「緑※」：防護区域境界通路扉の不適切な管理（当社社員による発見）
当社社員は、周辺防護区域と防護区域の境界における通路扉が、核物質防護の観点から適切に管理されていない状態であることを確認いたしました（当所において2箇所、4月19日に原子力規制庁により是正措置確認済み）。
 - ◆事案② 安全上の重要度「緑」：周辺防護区域から防護区域への再入域手続きの不備（原子力規制庁による指摘）
当社は原子力規制庁から、入退域ゲートとは別に設置された周辺防護区域と防護区域の境界における管理された防護扉について、その扉から周辺防護区域に一時的に退域し、防護区域へ再入域する際に金属探知機による点検等の所定の手続きが、十分に行われていない旨の指摘をいただきました（同様の箇所は各号機に存在、3月24日に原子力規制庁により是正措置確認済み）。
- 当社は一連の核物質防護事案を受けて、発電所自ら核セキュリティに対する意識や安全文化を改革し作り直していくことが重要との認識の下、現在、根本的な原因分析や改善措置活動に対する検討を進めております。
※安全上の重要度「緑」：安全上の重要度は「赤」「黄」「白」「緑」の順に区分され、重要度「緑」は、安全確保の機能または性能への影響があるが、限定的かつ極めて小さなものであり、事業者の改善措置活動により改善が見込める水準のものに適用されます。

みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。
今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにて
お待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp（受信専用）

※いただいた内容は、広報紙づくりの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,180人※です。（2021年4月1日現在）
※1日あたりの入構者数は約750人

| | 東京電力HD | 協力企業 | 合計 |
|----|--------|--------|--------------|
| 県内 | 375人 | 1,481人 | 1,856人（85%） |
| 県外 | 62人 | 262人 | 324人（15%） |
| 合計 | 437人 | 1,743人 | 2,180人（100%） |

編集後記

春から夏へと向かう季節の変わり目となり、汗ばむ陽気の日も増えてきました。マスクを着用していると、口中の湿度が保たれるため、喉の渇きに気づきにくくなるそうです。こまめに水分・塩分補給し、熱中症予防を心がけたいです。【村】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353（受付時間（平日）午前9時～午後5時）
fuku2kouhou@tepcoco.jp（受信専用）